

広田 博志 様

お返事が遅くなりましたが、過日はお子様の就学に向けた話し合いの機会を設けていただきありがとうございました。

翌日いただきましたメールの内容につきましては、7月15日に簡易書留を受領いたしました。

まず、この手紙に書かれておりました、私からの「お願い」した事項について明文化してほしいとのことについて、以下のようにまとめさせていただきました。

- お子様の障害の状況などを伺った中では、特別支援学校に通学して学ぶことが良いと考えていますので、就学に向けて話し合いをお願いしたい。
- チューブ挿入等の医療的な面については、必要に応じて主治医への相談をお願いしたい。
- 来年度の入学に向けて、事前の体験として特別支援学校での生活や保育所での集団生活などを経験する機会を持てるよう、相談させていただきたい。
- 川島ひばりが丘特別支援学校への就学と併せて所沢おおぞら特別支援学校への区域外就学についても検討をお願いしたい。
- 通学方法について、福祉サービスや保護者送迎等も含めて検討をお願いしたい。
- 放課後や長期休業中の学童保育、福祉サービスについて、県からの情報提供等を参考に検討をお願いしたい。

この後ですが、県では広田様の意向を踏まえまして、いつでも話し合いができるように考えております。私どもも一緒にお子様の成長に向けて、できるだけのことを考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

お返事をお待ちしております。

平成23年7月28日

さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課

主幹兼主任指導主事 金子 功

